

芝のささやき

陸上競技の名監督実弟と元学生チャンピオン

第6ブロックの予選会場になった戸塚CCには145人が参加した。河本徳三朗君（相模原）が73（35・38）のトップで決勝進出としたが、84と86のスコアで悔し涙に暮れた森永正隆君（鷹之台、68歳）と帖佐寛巳君（伊勢原、63歳）にスポットを当ててみた。森永君は慶應義塾大時代の昭和39年、関東学生ゴルフ選手権（鷹之台）でメダリストと優勝という快挙を成し遂げた実力者。小柄だがシャープなゴルフをするが、『84ではネ・・・』と苦笑いするだけ。予選通過ラインには及ばなかった。

一方、帖佐君は日本陸上界の指導者として知られる帖佐寛章氏（元順天堂大教授、日本陸上競技連盟副会長を歴任）の実弟。『昨年^{ひろあき}は決勝大会には出ましたが・・・。練習不足です。来年もチャレンジします』『兄は80歳になりますが、元気にプレーしています。負けられません』と捲土重来を誓って引き揚げた。